

群馬県立文書館 教材活用史料詳細カード2

|                            |   |      |       |     |           |
|----------------------------|---|------|-------|-----|-----------|
| 請求番号                       | P9301   | 文書番号 | 153   | 年代  | 奈良時代・江戸時代 |
| 史料名                        | 萬葉集 巻1～20   |      |       |     |           |
| 形態                         | 和本(木版)  | 複製   | あり・なし | ( ) |           |
| 備考                         | 寄託の古文書(吉田允俊家文書)、全20冊(全20巻。1巻1冊)<br>同一史料は、寄贈の古文書(勝山敏子家文書 P8702)にもある  |      |       |     |           |
| 史料概要                       | 江戸時代に桐生新町(現桐生市本町を中心とする一帯)で機屋(はたや/織屋)を営<br>し、国学者・橋守部の門人兼後援者でもあった吉田家の寄託古文書。現存最古の歌集で<br>ある「萬葉集」の版本。巻五には新元号「令和」の典拠となった序が収載されており、<br>授業の導入にも用いやすいだろう(令和生まれの子どもが増える状況にも対応できる)。  |      |       |     |           |
| 指導要領<br>(内容)と<br>の関連       | <小 6> (2) - ア - (イ) 大陸文化の摂取<br><中 歴> B - (1) - ア - (エ) 仮名文字の成立<br><高日探> A - (3) - ア - (ア) 古代の諸文化の形成   |      |       |     |           |
| 活 用 例                      |   |      |       |     |           |
| 活用単元                       | 天平文化<br>(文字(ひらがな)、句読点や濁点の変化・有無などから見る日本語(国語)の歴史)   |      |       |     |           |
| 活用場面                       | ・日本における文字の歴史、特にひらがなの誕生がわかる資料としての活用。   |      |       |     |           |
| 活用方法                       | ・史料と現代表記に改めた歌を提示し、それらと比較しながら万葉仮名を読み、ひらが<br>なの誕生について理解する。(学習者の興味と関連する選択が望ましい。例えば小学生<br>は身近な単語、中学生・高校生は相聞歌や上野国東歌など)。<br>・他の資料(例えば『古今和歌集』における「君が代」の元歌や江戸期の絵入りの読本、<br>画集、江戸期の子どもが使った学習書、明治期の教科書など)数点を順に見ながら、<br>現代文と比較して共通点・相違点を確認し、ひらがなの成立、変体仮名や旧漢字・異<br>体字、歴史的仮名遣いの使用、句読点や濁点の有無と、それらの歴史を学ぶ。 |      |       |     |           |
| 予想され<br>る生徒児<br>童の反応<br>など | ・現代文との相違に驚くとともに、外国語(漢字)に由来するひらがなの誕生、および<br>日本語(国語)の歴史について理解を深めることができるであろう。また、日本で1500<br>年ほど続いている文字使用の歴史の中での変化(政府による歴史的仮名遣いの禁止や<br>常用の漢字、ひらがなの統一、ひらがなと漢字の混交、言文一致体の採用、読み書き<br>のしやすい現代の文へ)など、学習者の特性に応じて『文字』に関する様々な事象へ<br>学習を広げることができる。   |      |       |     |           |

